

抄本



# US 株価分析の手法解説

【 弊社専用アプリケーションBasic版の活用事例です 】

©2024 US賃金研究所 八田清久男

# 《CONTENTS》

【数字は本文の見出し番号です】

1. 株価の構成要素を抽出する
2. 多様な企業データを入力
3. プロット画面から－そのⅠ
4. プロット画面から－そのⅡ
5. 基準線からの回帰と分散
6. 回帰分析以外の手法－Ⅰ
7. 回帰分析以外の手法－Ⅱ
8. 統計学的な一般論と補足



弊社が賃金分析で実績あるビジュアルな株価分析の仕組みをご案内しますが、過信は禁物である事を見出し5でご確認ください。

# 1. 株価の構成要素を抽出する

- 株価の構成要素は収益面、資産面及び資本効率に三分類
  - 「効率」は、対自己資本「ROE」と対総資本「ROA」に分かれます
  - 配当金は、収益の分配として収益に含まれます

## I. 基礎体力としての構成要素

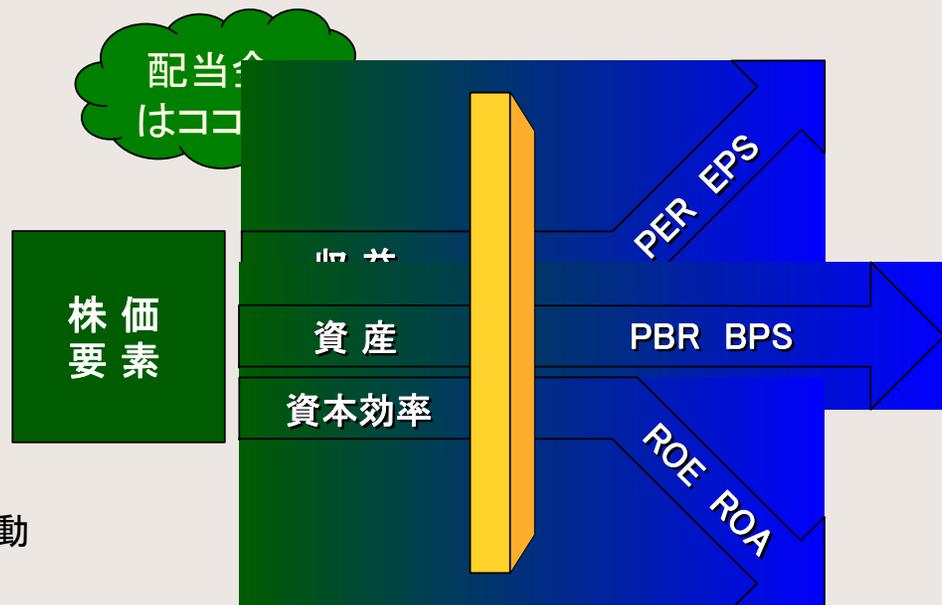
市場株価は、企業の基礎体力だけで決定されません。  
本図以外にも下記の重要な要素が存します。

## II. いわゆる「信用倍率」

信用取引による売り残高と買い残高の比率が重要です。

## III. 同「安定株」と「変動株」

年間を通して、銘柄毎に価格変動の大小は、「高値」「低値」及び「変動倍率」として重要です。



## 2. 多様な企業データを入力

- アプリには、株価分析に役立つ多様な企業データが登録されています
  - 本画面は、基本情報入力フォームの一部です

企業データ

登録 修正 削除 キャンセル 開じる

企業コード 1 サイバーリンクス 操作ボタンにマウス乗せてヒントを読みます 1 / 20

基本情報 株価情報

企業ID 3683 本社所在地 和歌山県田辺市 取引開始日 平成 26年 11月 21日

企業名 サイバーリンクス 配当金 13 配当利回り % 1.63

ROEランク  HIGH  MID  LOW PER 32.00 マーク 4: ○ スタンダード

設立年月日 昭和 39年 05月 28日 PBR 1.25

上場年月日 平成 26年 03月 06日 EPS 25

業種 情報・通信 BPS 640

大分類 3: PER可 利回り評価 4: A

資本金 評価 1年前 B

従業員数 評価 2年前 A

等級選択 2: 五百円~春

イメージ 読込

旧企業名

### 3. プロット画面から値頃な株を探すー その I 回帰分析の操作パネル

タイトル

X軸 項目

- 設立年数
- 上場年数
- 配当金額
- E P S
- B P S
- P E R

Y軸 項目

- 市場株価
- 理論株価
- 目標株価
- Year高値
- Year低値
- 支給率

乖離水準

1	<input type="text" value="10"/>	%
2	<input type="text" value="-10"/>	%
3	<input type="text" value="0"/>	%
4	<input type="text" value="0"/>	%

近似式

- 2次式
- 3次式

等級選択

- 五百円未満
- 五百円～壹千円
- 壹千円～二千元
- 二千元～三千元
- 三千元～五千元
- 五千元～壹万円
- 壹万円以上

プロットマーク

- プライム 製造
- プライム 非製
- スタンダード 製
- スタンダード 非製
- ▲ グロース 製造
- △ グロース 非製

マークラベル

- シーケンスNo
- 配当利回り
- 収益率評価
- 表示しない

株価利益倍率

- PER 優
- PER 良
- PER 可
- PER 不可
- ALL

信用倍率

- 第一段階 優
- 第二段階 良
- 第三段階 可
- 第四段階 不可
- 段階 ALL

自己資本利益率

- ROE 高
- ROE 中
- ROE 低
- ALL

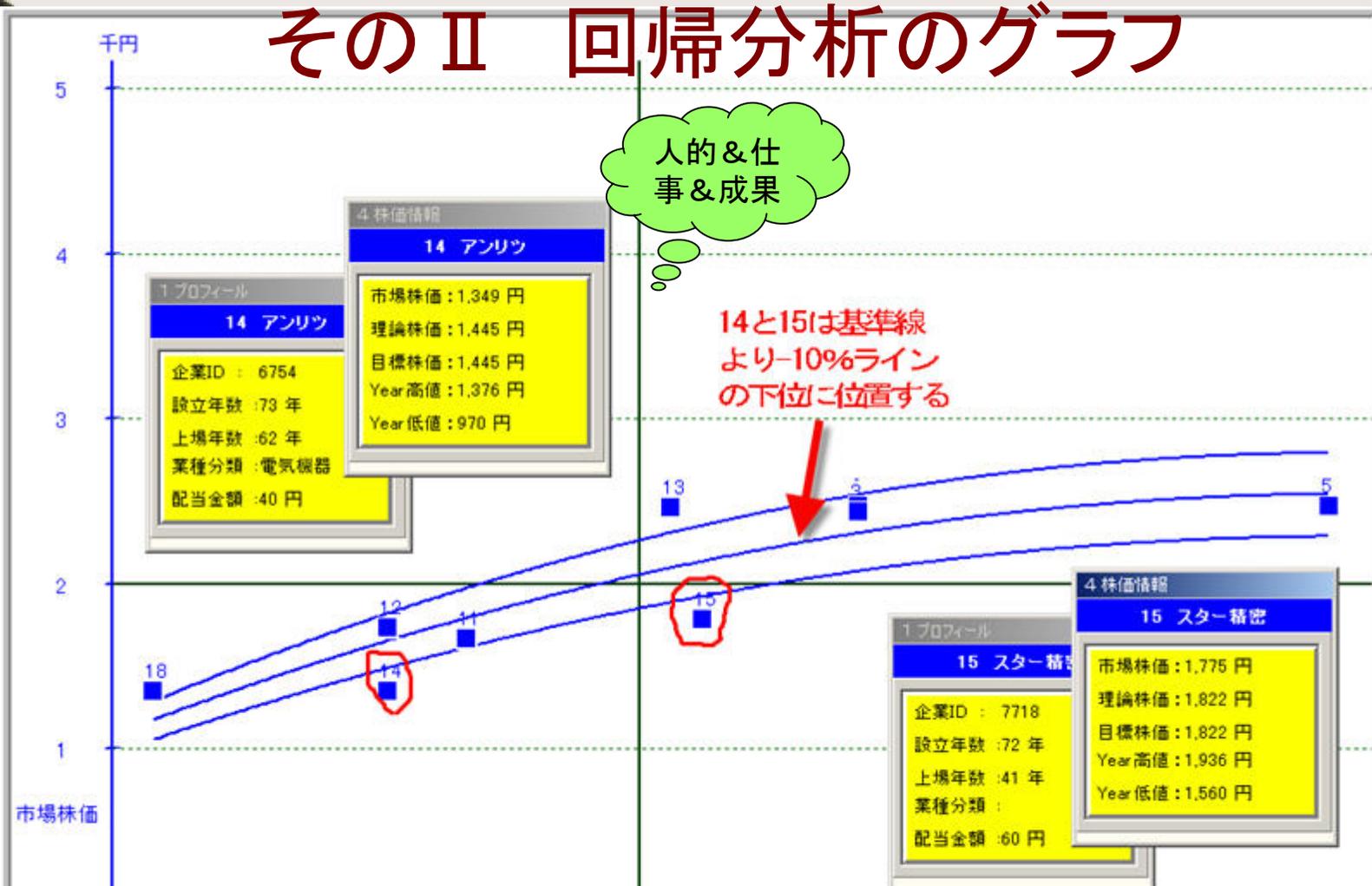
グラフ表示

- ON

- 先ず相対的に安価な銘柄を抽出する仕組みをご案内します
- 単に市場株価を配当金額で分析するだけでは効果が低いです
- 赤枠の選択肢を活用して、比較する企業を絞り込んで分析します
- 絶対価格の高低に囚われず、相対的に安価な銘柄を探します

効果的な  
選択肢を！

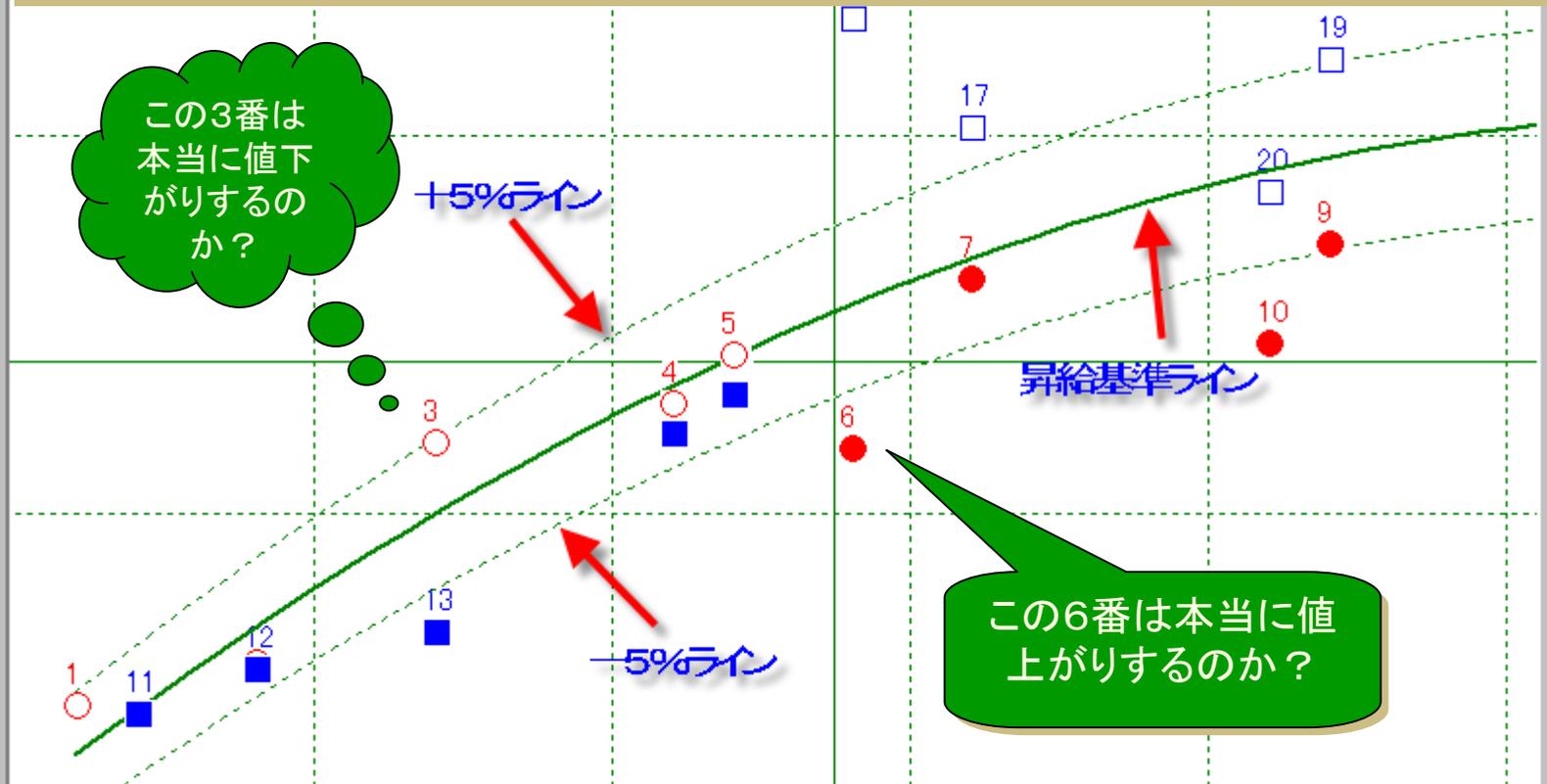
# 4. プロット画面から値頃な株を探すー そのⅡ 回帰分析のグラフ



基準線の-10%ラインを下回る14と15は相対的に低価格な銘柄と言えます

# 5. 基準線からの回帰と分散

個々の株価は基準線に回帰する傾向を有するのは確かだとしても、投資には不安が

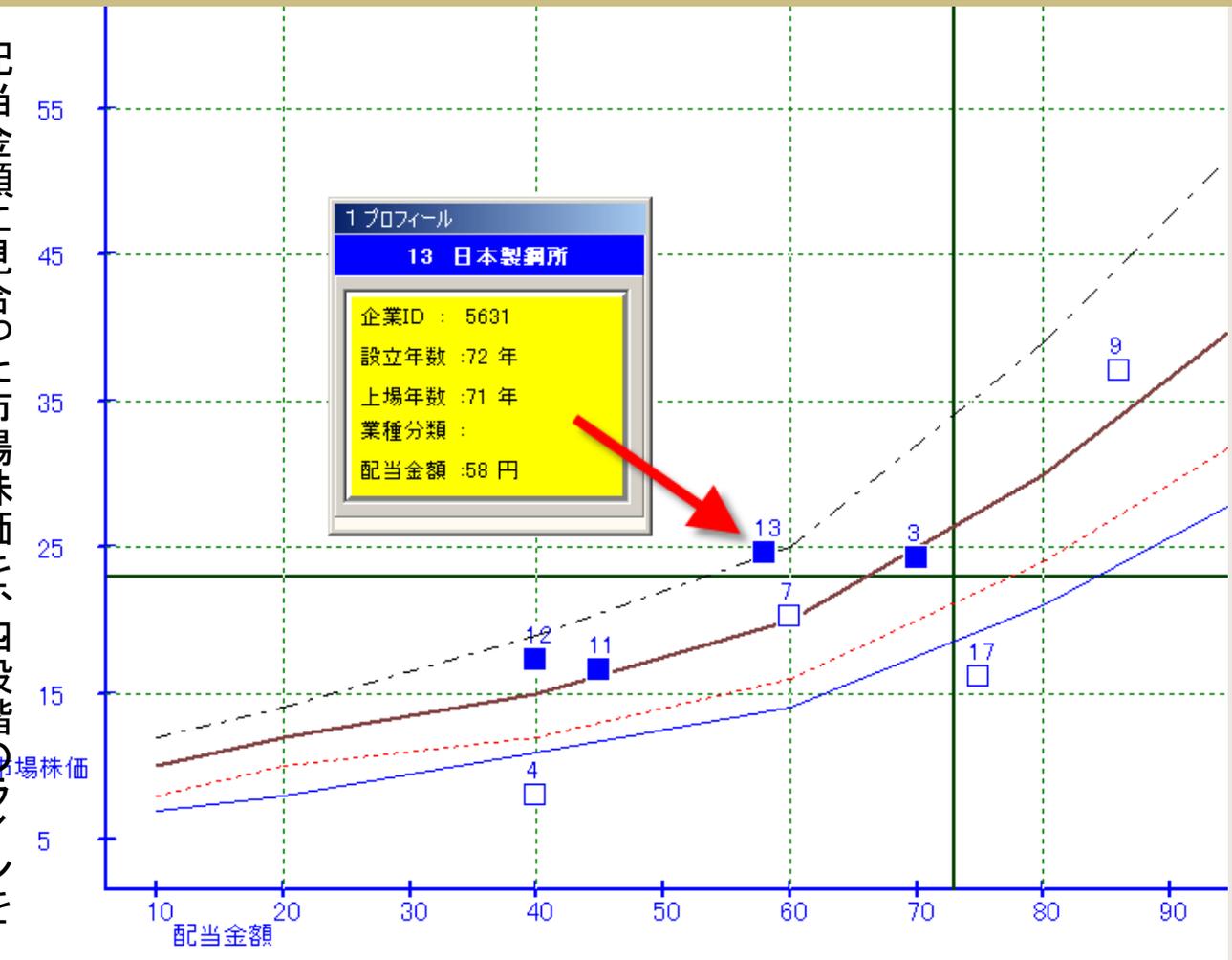


「吹き出し」の眩きは、投資する当人には尤もな不安です。価格変動だけの「値ごろ感」と同じく、回帰分析だけの「買い得感」で決断は危険です。

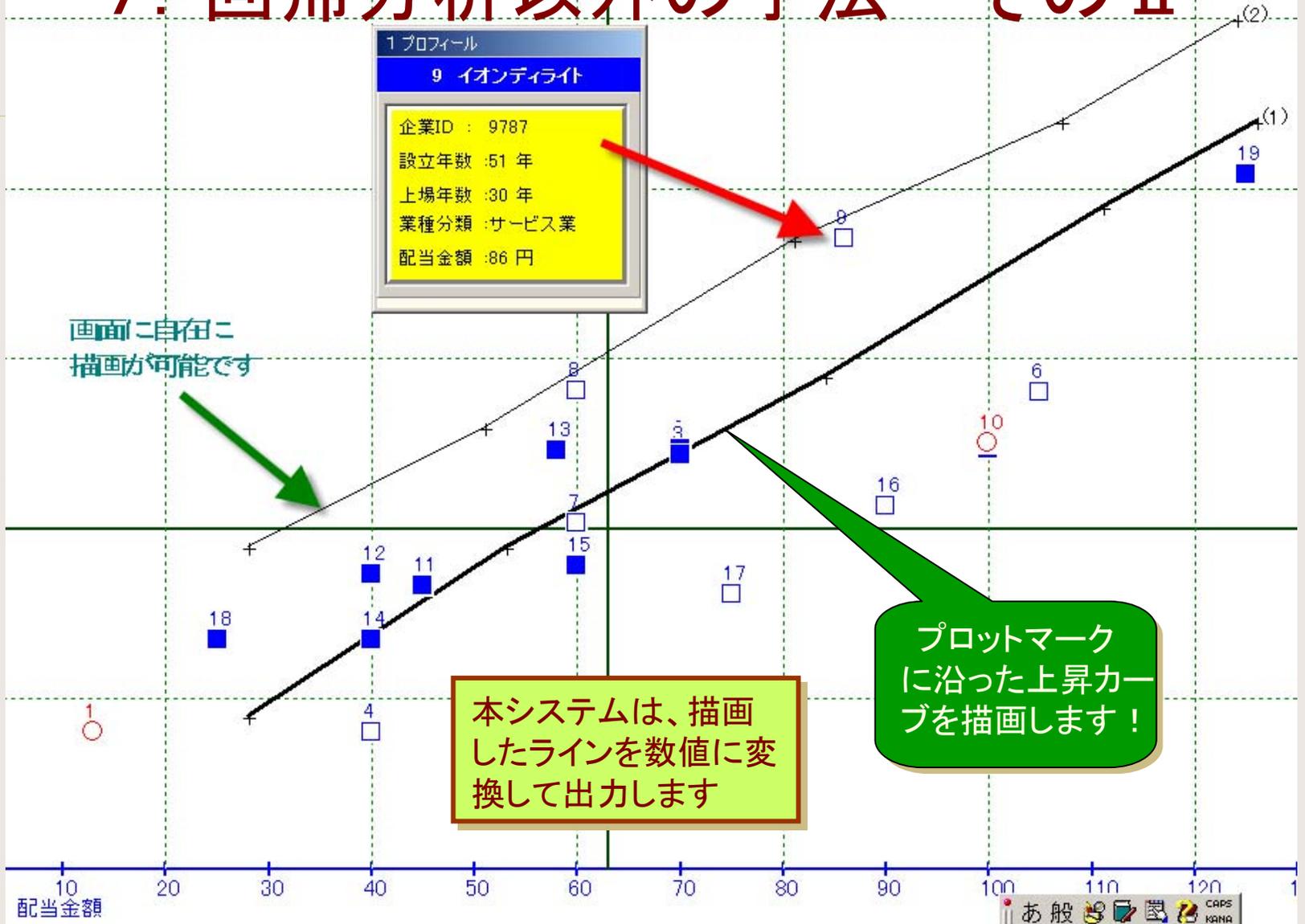
# 6. 回帰分析以外の手法ーその I

本図は回帰分析より簡易な手法ですが、対象企業を十分に絞ってますので有効です

配当金額に見合った市場株価を、四段階のラインを描いて分析します。  
太い実線は、基準となる株価ラインです。そこから十一何%のラインを設定しています。そこから図示している⑬は上限ラインに位置しているので、買い付けは控えます。



# 7. 回帰分析以外の手法ーそのⅡ



# 8. 統計学的な一般論と補足

1. 株価のロット画面からの分析が効果的である基本的条件として
  1. ★登録企業数が一定数の範囲であること
  2. 配当金「0」やEPSが「-」の登録企業が多数では、逆効果となる
2. アプリケーションが付加する有効な機能として
  1. プロットマークから株価情報をインフォメーションできること
  2. ★重回帰分析(多変量解析)が装備されていること
  3. 年度更新が可能であること
  4. 累積した投資額や収益等が管理できること

## 【補足★】

- 1-1 登録企業が一定数以上でなければ、ロット画面から分析不可です。  
ただし視覚可能範囲の分析ゆえ、数が多過ぎても逆効果です。  
また、登録及び更新作業自体が手間ですから、その意味でも一定の範囲である事になります。
- 2-2 上級版には重回帰分析システムが装備されています。